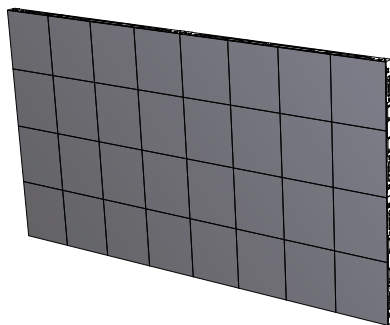


## 取扱説明書 詳細編

LED ディスプレイ **業務用**

品番 TL-55LV12AJ



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

はじめにお読みください

本機の設定方法や操作方法など、より詳しい内容については「LED Manager LV」をお読みください。

「LED Manager LV」のダウンロードについては、次の URL を参照してください。

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/prodisplays>



- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(3～8 ページ) を必ずお読みください。**
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体の製造番号をお確かめください。

パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号

© Panasonic Projector & Display Corporation 2026

TR0626YMO -FJ

中国印刷

DPQP1858ZA/X1

# もくじ

## お使いになる前に

- この取扱説明書のイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。

安全上のご注意	3
使用上のお願	9
付属品の確認	12
別売オプション	16
ご準備	16
組み立て・取り付け・接続	17
寸法図	40
各部の基本説明	42
基本の操作	43
プリセット信号	44
仕様	45
ソフトウェアライセンス	46
商標について	47

## 大切なお知らせ

### 業務用ディスプレイ / プロジェクター テクニカルサービスサイト PASS について

PASS は、当社ディスプレイをご使用またはご購入を検討されている方に様々なサービスをご提供する、総合サポートサイトです。

詳しくは下記の WEB サイト

(<https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays/pass>)

または、

パナソニック PASS  で検索してください。

メンバー登録が未だの方は、 ボタンから登録をお願いします。

メンバー登録がお済みの方は、登録メールアドレス / パスワードを入力してログインしてください。

#### ■ 簡単にご登録だけで、様々なコンテンツをご利用いただけます

##### ・ダウンロード

ユーティリティソフトウェアや業務用ディスプレイファームウェアをダウンロードできます。

##### ・ニュースレター購読

PASS の最新情報、新製品情報などをメールでお届けします。

##### ・お問い合わせ

ログインいただくと、細かい手続き不要で、すぐにお問い合わせいただけます。

#### ■ 本体購入後 1 か月以内に PASS にご登録頂きますようお願いいたします。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



**警告**

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



**注意**

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。



**警告**

異常・故障時は直ちに使用を中止してください

■ 異常があったときは電源プラグを抜いてください

- 煙が出たり、異常な臭いや音がある
- 映像が出ないことがある
- 内部に水などの液体や異物が入った
- 本機に変形や破損した部分がある



電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

- 電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
- 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。
- お客様による修理は危険ですから、おやめください。
- 電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

■ 故障した本機には手で触れないでください



感電の原因になることがあります。

■ 異物を入れないでください

通線孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。



火災・感電の原因となります。

- 特にお子様にはご注意ください。



## 警告

### 電源コードについて

- 電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください



付属以外の電源コードを使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。

- 付属の電源コードを他の機器に使用しないでください



ショートや発熱により、火災や感電の原因になることがあります。

- 電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をしてください



湿気などでショートし火災・感電の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- めれた手で電源プラグを抜き差ししないでください



感電の原因となります。

ぬれ手  
禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、本機の仕様外の交流電源電圧では使用しないでください



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により火災の原因となります。

- 電源プラグ（コンセント側）は、根元まで確実に差し込んでください



差し込みが不完全であると、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントのまま使用しないでください。

- 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください

（ 傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねる など ）



ショート、断線により火災・感電の原因となります。

- 電源コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

- 破損した電源コードや電源プラグには手で触れないでください



感電やショートによる火災の原因になることがあります。



## 警告

### 電源コードについて

- 本機は、必ず、電源プラグを保護接地があるコンセントに接続してください
- アースは確実に行ってください



感電の原因となります。本機の電源プラグはアース付き 3 芯プラグです。機器の安全確保のため、アースは確実に接続を行いご使用ください。

- アース工事は専門業者にご依頼ください。

- 設置は、工事専門業者にご依頼ください



工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

- 壁への取り付けには指定の別売壁掛け金具や VESA 規格準拠の壁掛け金具 (VESA 400 × 400) を必ずご使用ください。
- 落下防止のため、壁掛け金具と取り付ける機材の重量に十分耐えるよう、取り付け場所の強度を確認のうえ施工を行ってください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。

- 同梱されている付属品はお子様の手が届くところに置かないでください

- リモコン (電池含む) は設置用であり、子供が触れる可能性のある場所での使用は想定されていません



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

- 雷が鳴りだしたら本機や電源プラグには触れないでください



接触  
禁止

感電の原因となります。

- 本機上部に水などの液体の入った容器を置かないでください



水ぬれ  
禁止

水などの液体がこぼれ、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

- むらしたりしないでください



水ぬれ  
禁止

火災・感電の原因となります。

- 不安定な場所に置かないでください



ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

- 振動が少なく、本機の質量に耐えられる場所に設置してください



倒れたり、落ちたりして、けがや故障の原因となります。

- 長期使用を考慮して設置場所の強度を確保してください



長期使用により設置場所の強度が不足すると、落下してけがの原因となります。

- 機器本体取り付け、または取り外しの際には、機器本体と壁や金具に挟まれる恐れがあるため、周辺に人がいないことを確認し、注意して作業してください



手や指がはさまり、けがの原因になることがあります。

## 警告

- 本機を分解したり、改造したりしないでください



分解  
禁止



### 「本体に表示した事項」

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

- 本機を分解したり、改造したりしないでください



分解  
禁止

こわれたり、落下してけがをする原因となります。

- 心臓ペースメーカー等の体内植込型医療用電子機器を装着している方は、本機に近づかないでください



磁石の磁力により機器に影響を及ぼす可能性があります。

万一体調が悪くなった場合は、かかりつけの医師にご相談ください。

## 注意

- 風通しの悪い狭い所に押し込まないでください
- 逆さまにしないでください
- あお向け設置やうつ伏せ設置をしないでください
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください



内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

- 上に物を置かないでください



倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

- 本機に乗ったり、ぶらさがったりしないでください



倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。

- 特に、小さなお子様にはご注意ください。

- 温度の高い所、湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください



火災・感電の原因となることがあります。

- 電源コードを取り外すときは、必ず電源プラグ（コンセント側）を持って抜いてください



コードを引っ張ると、コードが破損し、感電・ショートによる火災の原因となることがあります。

- 移動させる場合は、電源コードや機器の接続線、転倒・落下防止具を外してください



コードや本機が破損し、火災・感電の原因となることがあります。

- 接続ケーブルの処理は確実に行ってください



ケーブルを壁面に挟んだり、無理に曲げたり、ねじったりすると、芯線の露出、ショート、断線により、火災・感電の原因となることがあります。



## 注意

- 指定以外の電池を使用しないでください
- 日光、火などの過度な熱にさらさないでください



取り扱いを誤ると、電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 電池を入れるときには、極性（プラス⊕とマイナス⊖）を逆に入れないでください



取り扱いを誤ると、電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。挿入指示通り正しく入れてください。

- 電池の液が漏れたときは、素手でさわらないでください



- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服についたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

- 長時間使用しないときは、リモコンから電池を取り出してください



液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

- 使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出してください



そのまま機器の中に放置すると、電池の液漏れや、発熱・破裂の原因になります。

- 強い力や衝撃を加えないでください



機器が破損し、けがの原因となることがあります。

- 長期間で使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください



電源プラグにほりこがたまり火災・感電の原因となることがあります。

電源  
プラグを  
抜く

- 開梱 / 運搬は専門業者にお任せください



- 壁への取り付けの際は、取り付けねじや電源コードが壁内部の金属部と接触しないように設置してください



壁内部の金属部と接触して、感電の原因となることがあります。

- 接続ケーブルを引っ張ったり、ひっかけたりしないでください



倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。  
● 特に、お子様にはご注意ください。

- 雨が当たる所、塩害が発生する所、腐食性ガスが発生する所に設置しないでください



腐食により落下し、けがの原因になることがあります。また、本機の故障の原因になる場合があります。

- カタログで指定した機器以外には使用しないでください



倒れたり、落下してけがの原因となります。

- 万一、本機に変形、ひび割れ・割れが起こった場合は、使用しないでください



そのまま使用すると倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。  
すぐに販売店へご連絡ください。

- 水平で安定したところに据えつけてください



破損してけがの原因となることがあります。

- 組み立て時、ねじ止めをする箇所は、すべてしっかりと留めてください



不十分な組み立て方をすると強度が保てず、倒れたり破損してけがの原因となることがあります。  
● 組み立て方説明内に締め付けトルクを記しています。



## 注意

- 取付工事の際は、指を挟まないようご注意ください



けがの原因となることがあります。

### 指はさみ注意

- 素手で LED モジュール部に触れないでください



- 低温やけど、LED モジュールの故障や不具合の原因になることがあります。
- 静電気により LED モジュールが故障することがあります。

- 磁気カードなど磁気記録媒体を近づけないでください



データが破壊されて使用できなくなる恐れがあります。

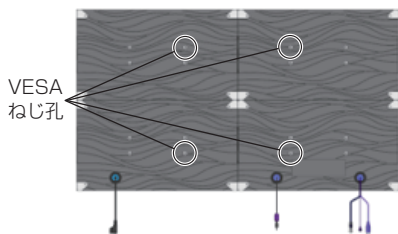
- 本機を縦置きに設置されるときは、必ず VESA 規格準拠の壁掛け金具を使用して設置してください



オプション壁掛け金具 TY-WMT1 を使用して縦置きに設置することはできません。

横設置

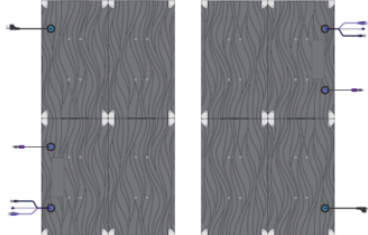
(設置角度 0°)



縦設置

(設置角度 -90°)

(設置角度 +90°)



- 取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときは、当社では責任を負えません。

### お手入れについて

- 一年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください



内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除については販売店にご相談ください。

- 定期的なメンテナンス回数の低減や、異物混入による故障防止のため、別売オプションのカバーフレーム (TY-CF55LVH1、TY-CF55LVV1、TY-CF55LVC1) の取り付けを推奨します



異物が入り、火災や故障の原因になることがあります。

- 設置環境にご注意ください。

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください



感電の原因となることがあります。

電源  
プラグを  
抜く

- 定期的に製品の変形や割れ、ねじの緩みがないか点検してください。異常がある場合には販売店へご連絡ください。

# 使用上のお願い

## ■ 設置されるとき

本機の設置については、次に示す各項目をお守りください。

また、設置環境の不具合による製品の破損などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。

本機は屋内に設置してください。また、屋内であっても次のような場所の設置は避けてください。

- 風雨にさらされる場所
- 空調機の近くなど、温度・湿度の変化が激しい場所
- 振動や衝撃の加わるおそれのある場所
- スプリンクラーや感知器の近く

振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。

- 本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
- 振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

本機の質量に耐えられる場所に設置してください。

- 転倒・落下により、けがの原因になることがあります。

高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。

- 高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。

機器相互の干渉に注意してください。

- 電磁波妨害による映像の乱れ、雑音などをさせて設置してください。

本機の使用環境温度は、海拔 1 400 m 未満で使用する場合は、0℃～40℃、高地（海拔 1 400 m 以上～2 800 m 未満）で使用する場合は、0℃～35℃です。これらの温度を越えないように空気の流れを確保してください。

- 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

直射日光を避け、熱器具から離して設置してください。

- 室内であっても直接日光が当たると LED モジュールの温度上昇により故障の原因になることがあります。
- キャビネットの変形や故障の原因となります。
- 光や熱によって機器の温度上昇に起因する故障や不具合の原因となる場合があります。
- 映像品位の低下につながる場合があります。

機器の接続は通電されていない状態で実施してください。

- 各機器の説明書に従って、接続してください。

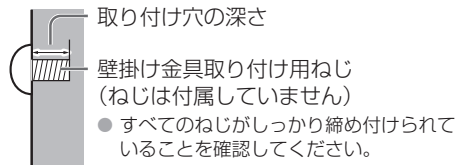
LED モジュールをつかむようなことはしないでください。

- LED モジュールを強く押ししたり、先のとがった物で押ししたりしないでください。
- LED モジュールに強い力が加わると、故障の原因になります。

## 設置時の空間距離について

- ケースや筐体内に設置する場合は、冷却ファンや通気口を設けて、LED モジュール前面を含めた本機周辺温度（ケースや筐体内温度）が本機の使用環境温度の範囲内に維持されるように適切な換気を実施してください。

## VESA 規格準拠の壁掛け金具を使用する場合 使用するねじについて



取り付けピッチ	取り付け穴の深さ	ねじ（本数）
400 mm × 400 mm	10 mm	M6 (4)

本機を保管しておく場合は、乾燥した室内に保管してください。

指定のオプション金具以外を使用した場合の設置については、保証いたしかねます。

- オプション金具は、本書に記載されている設置手順に従って設置してください。
- ※他の設置条件につきましては販売店にご相談ください。

## ■ 接続について

### 電源コードや接続ケーブル抜き差しについて

- 壁への設置後に、電源コード、接続ケーブルの抜き差しが困難な場合は、壁掛け前に本体へ接続してください。
- コード類が絡まないようご注意ください。設置が完了してから、電源プラグをコンセントに差ししてください。

## ■ ご使用になるとき

本機の一部が熱くなることがあります。

- 筐体の一部の温度が高くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。

画面に常時点灯または点灯しないドットが発生することがあります。

- LED モジュールは精度の高い技術で作られていますが、画面上に常時点灯または点灯しないドットが発生する場合があります。これらは故障ではありませんのでご了承ください。
- LED モジュールに汚れなどが付着すると、点灯しないドットのように見える場合があります。

本機は焼き付きが発生することがあります。

- 静止画を長期的に表示した場合、焼き付きが生じることがあります。

使用される温度・湿度・コンテンツによっては明るさのムラが発生することがありますが、故障ではありません。

- 自発光型パネルで生じる現象です。静止画を継続的に表示した場合、生じることがあります。

### LED モジュール表面について

- LED モジュール表面に指紋や汚れがつくと、映像品位の低下につながります。傷や汚れがつかないように、取り扱いにご注意ください。
- 故障や不具合の原因となるため、不必要にLEDモジュールを触らないでください。

### 長時間ご使用にならないときは

- 電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 電源供給せずに長期保管する場合は、直射日光にさらされる様な場所や湿度の高い場所に保管しないでください。

電源が瞬断や瞬停、瞬時電圧低下すると、正常に動作しない場合があります。

- このような場合は、本機および本機と接続している機器の電源をいったん切ったあと、再度、電源を入れてください。

ご覧になっている映像端子以外の入力端子に接続されているケーブルを抜き差ししたり、映像機器の電源を「切」「入」すると映像が乱れることがあります。故障ではありません。

本機表示へ粘着性のテープやシールを貼らないでください。

- 本機の表面を汚すこととなります。

ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。

- 本機の変質の原因となります。

LED モジュールは、経年劣化により輝度や色味が変化することがあります。

### ■ RJ45 端子との接続について

静電気が多く発生するような場所での本機の使用は、できるだけしないでください。

- じゅうたんなどの静電気が多く発生するような場所で本機を使用する場合、通信が切れやすくなります。その場合は、問題となる静電気やノイズ源を取り除いてから、本機と接続している機器の電源をいったん切ったあと、再度、電源を入れてください。

放送局や無線機からの強い電波により、正常に動作しない場合があります。

- 近くに強い電波を発生する設備や機器がある場合は、それらの機器から十分に離して設置するか、両端で接地された金属箔あるいは金属配管でLANケーブルを覆ってください。

### ■ セキュリティに関するお願い

本機をご使用になる場合、次のような被害に遭うことが想定されます。

- 本機を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本機の不正操作
- 悪意の第三者による本機の妨害や停止

セキュリティー対策を十分に行ってください。

- LAN 制御のパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。
- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社およびその関係会社が、お客様に対して直接パスワードを照会することはありません。直接問い合わせがあっても、パスワードを答えないでください。
- ファイアウォールなどの設定により、安全性が確保されたネットワークでご使用ください。
- 廃棄時には、データの初期化を行ってから廃棄ください。

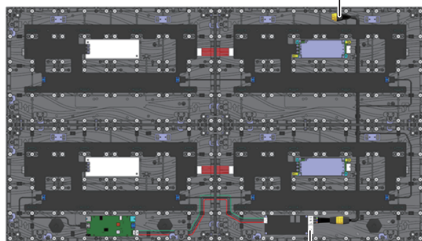
### ■ 電源基板の AC IN 端子とキャビネット内の AC ケーブル端子について

下図①に示す電源基板の AC IN 端子には付属の電源コードを端子接続し、電源プラグをコンセントへ接続してください。

下図②に示す AC ケーブル端子は機能拡張時の際にもう一方のディスプレイと接続してください。

- 指定以外の機器を取り付けると発熱により故障や火災の原因になることがあります。

② AC ケーブル端子



① 電源基板の AC IN 端子

## ■ お手入れについて

必ず電源プラグをコンセントから抜いて、通電していないことを確認してから行ってください。

本機 (LED モジュール表面除く) の汚れは、帯電を除去した柔らかい布 (綿・ネル地など) で軽くふく。

### お知らせ

- 静電気の発生は、電気回路の故障の原因になります。
- 本機の表面を固い布でふいたり、強くこすったりすると故障の原因になります。

### 化学ぞうきんのご使用について

- 本機にご使用の際はその注意書きに従ってください。

殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない。

- 本機の故障、破損や塗装がはがれる原因になります。



アルコールを LED モジュール表面にかけない。

- LED の故障の原因になります。

通気孔などの空気が通る孔のごみやほこりを取り除く。

- 使用環境によって通気孔付近に埃などが付着する場合があります。それにより、本機内部の冷却、排熱の循環が悪化し、輝度の低下や故障の原因となるおそれがありますので通気孔に付着した埃を取り除く清掃をお願いします。
- 付着するゴミやほこりの量は、設置した場所や使用時間によって異なります。

## ■ 廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。なお製品を分解せずに廃棄してください。

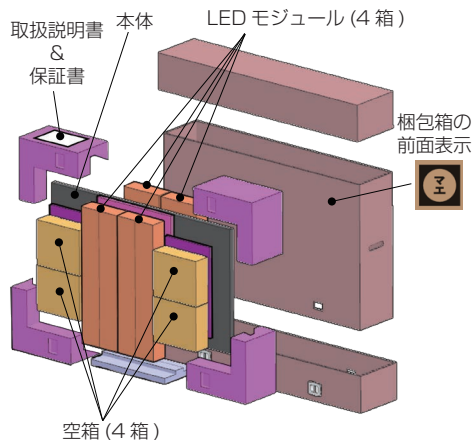
# 付属品の確認

## はじめに

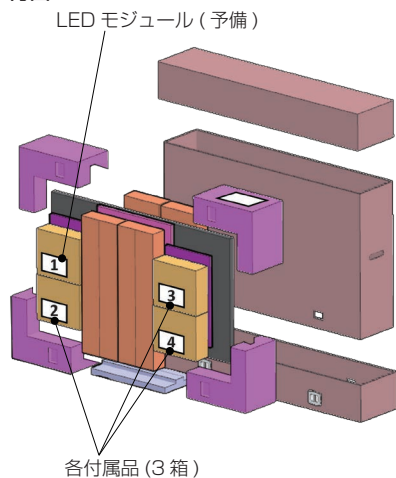
下図のように本体および付属品が梱包されています。

また、細かな付属品については本体背面側に1から4のラベルが貼られた各梱包箱に格納されています。

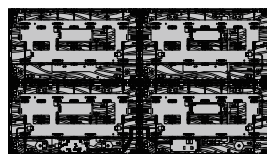
## 前面



## 背面



## 本体



## 付属品

各付属品箱にそれぞれの付属品が入っていることをご確認ください。

< >は個数です。

### LED モジュール (4 箱)

LED モジュール < 32 >

● TY-MD12CS1



### 付属品箱 1

LED モジュール (予備) < 1 >

● TY-MD12CS1

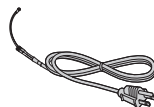


### 付属品箱 2

電源コード < 1 >

100 V 接地付きコンセント用

● DPVF5271ZA/X1



### 付属品箱 3

RJ-45 ケーブル< 1 >

機能拡張用 (約 1.2 m)

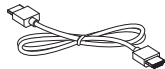
- DPVF5275ZA/X1



HDMI ケーブル< 2 >

機能拡張用 (2K 対応)

- DPVF5276ZA/X1  
約 1.8 m < 1 >
- DPVF5277ZA/X1  
約 0.7 m < 1 >

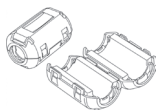


※入力用ではありません。

フェライトコア< 4 >

機能拡張 HDMI ケーブル (1.8 m、0.7 m) 用

- DPVF5278ZA/X1



USB A-C ケーブル< 1 >

PC 接続用 (約 2 m)

- DPVF5279ZA/X1



リモコン< 1 >

- DPVF5281ZA/X1

※本リモコンには、CR2025  
コイン電池が内蔵されています。



外部 IR 受信ケーブル< 1 >

(約 1.5 m)

- DPVF5280ZA/X1



### 付属品箱 4

コネクタプレート (固定孔 2 個) < 4 >

機能拡張用

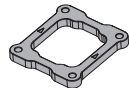
- DPVF5282ZA/X1



コネクタプレート (固定孔 4 個) < 2 >

機能拡張用

- DPVF5283ZA/X1



M4-12 ねじ< 16 >

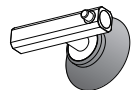
機能拡張用

- DPVF5284ZA/X1



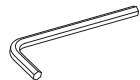
LED モジュール取り外しツール< 1 >

- DPVF5285ZA/X1



六角レンチ (HEX 3) < 1 >

- DPVF5286ZA/X1



六角レンチ (HEX 5) < 1 >

- DPVF5287ZA/X1



ケーブルホルダー< 3 >

- DPVF5288ZA/X1



ケーブル押さえ< 3 >

- DPVF5289ZA/X1

※ケーブルホルダーに取り付けた状態  
で出荷されています。



## □ M4-8 ねじ < 6 >

### ケーブル押さえ用

- DPVF5290ZA/X1

※ケーブルホルダーに取り付けた状態で出荷されています。



## □ 配線孔キャップ < 3 >

### (孔径Φ8mm)

- DPVF5291ZA/X1



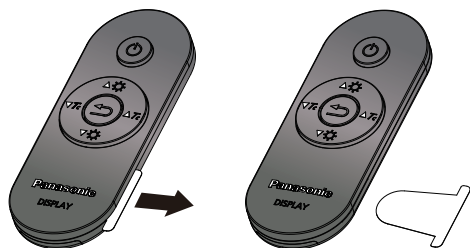
### お願い

- 付属の外部 IR 受信ケーブルを本機に接続しないとリモコンで操作できません。
- お子様の手の届かないところに、適切に保管してください。
- 付属品の品番は予告なく変更する場合があります。(上記品番と実物の品番が異なる場合があります)
- 付属品を紛失された場合は、お買い上げの販売店へご注文ください。(サービスルート扱い)
- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。

## リモコンの使用開始と電池の交換方法

### リモコンの使用開始

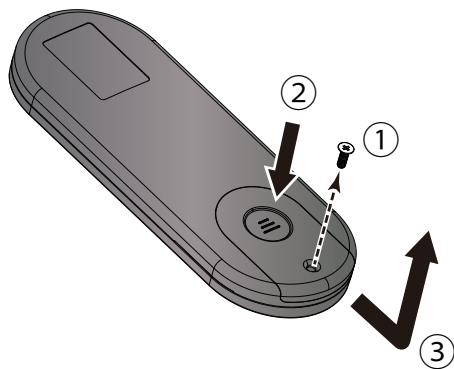
絶縁シートを図のように引いてリモコンをご使用ください



- 絶縁シートはプラスチックごみに分別して廃棄してください。
- 絶縁シートはお子様の手の届くところに置かないでください。

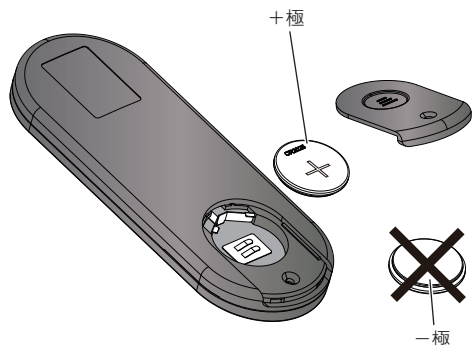
### 電池の交換方法

- ① ねじを外す
- ② ふたのくぼみを押しながら下側へスライドさせる
- ③ ふたを取り外す



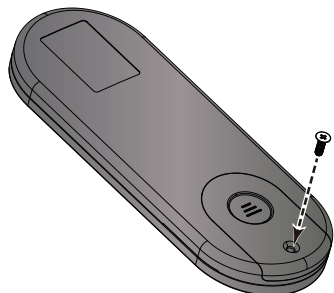
- ねじは使用しますのでなくさないようにしてください。
- ねじやふたはお子様の手の届くところに置かないでください。

## コイン電池 (CR2025) を取り外して新しいものと入れ換える



- +極が見えるように入れてください。
- 指定以外のコイン電池は使用しないでください。
- 新しいコイン電池の電極は正しい方向で入れてください。
- 使用済みのコイン電池はセロハンテープやビニールテープなどで+極と-極を絶縁して所定のコイン電池回収缶へ廃棄してください。
- コイン電池はお子様の手の届くところに置かないでください。

## ねじを取り付けてふたを閉める



- ふたは押し付けながら下から上へスライドさせるようにして閉めてください。

### お願い

- 電池を誤って取り付けると、液漏れや腐食のために、リモコンが壊れることがあります。
- 電池は環境に配慮した方法で廃棄してください。

## 次の点にご注意ください。

1. 使用済み電池の充電、分解、焼却などを行わないでください。
2. 電池を分解したり、火の中に投入したりしないでください。  
また、直射日光の当たる場所や火のそばなど、高温の場所に保管しないでください。
3. リモコンを子供の手の届く場所に放置しないでください。コイン電池を誤って飲み込むおそれがあります。

# 別売オプション

取り付けについては専門業者にご依頼ください。

## LED モジュール：

- TY-MD12CS1

## 壁掛け金具：

- TY-WMT1

## 壁掛け金具設置治具：

- TY-WMT1J

## カバーフレーム横：

- TY-CF55LVH1

## カバーフレーム縦：

- TY-CF55LVV1

## カバーフレームコーナー：

- TY-CF55LVC1

### お願い

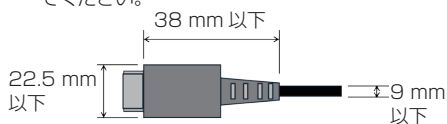
- 設置は、性能・安全確保のため、必ずお求めの販売店または専門業者に施工を依頼してください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。
- 別売のオプションの品番は、予告なく変更する場合があります。

# ご準備

以下の部品をご用意ください（市販品）

## □HDMI ケーブル（映像信号入力用）

- 下記寸法制約に適合する HDMI ケーブルを選定してください。



## □LAN ケーブル（PC 制御用）

- USB A-C ケーブル（付属品）、IR 受信ケーブル（付属品）および LAN ケーブルを同時に使用する場合、LAN ケーブルは CAT5E（直径 6 mm 以下）を推奨します。

## □ねじ（ねじ径：M10、4 か所）

- オプション壁掛け金具で設置する場合、壁への壁掛け金具の取り付けに使用します。

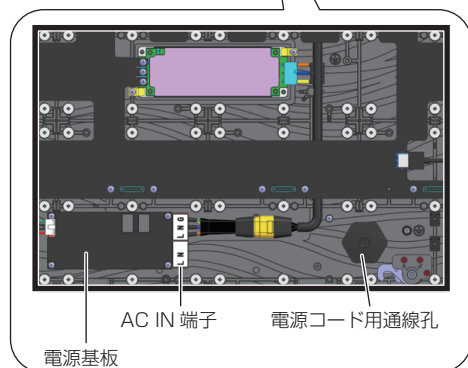
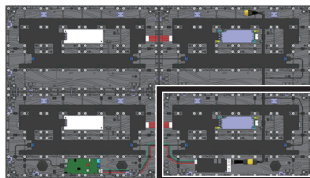
# 組み立て・取り付け・接続

## 電源コードの接続と固定

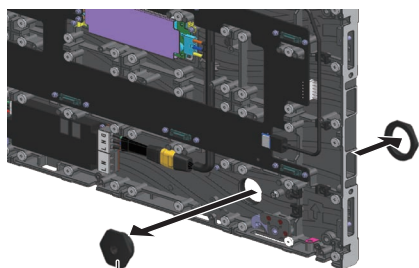
### 作業の前に

- 作業の前に、本機と接続する外部機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を切ってから作業を行ってください。
- 下記の点に注意して、ケーブルを接続してください。行わない場合、故障の要因になります。
  - ・ 本機と、本機に接続する機器とを接続するケーブルは、必要以上に長くしないでください。長くするほどノイズの影響を受けやすくなります。ケーブルを巻いた状態で使用するとアンテナになりますので、さらにノイズの影響を受けやすくなります。
- システム接続に必要なケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される外部機器に合わせて準備してください。
- プラグ外形が大きな接続ケーブルをご使用になりますと、隣接する接続ケーブルのプラグ部またはバックカバーなどに接触する場合があります。端子配列に適したプラグサイズの接続ケーブルをご使用ください。
- 映像出力の設定変更時など、パソコンや映像機器からの出力同期信号に乱れが発生した場合、一時的に映像に色の乱れが発生することがあります。
- パソコンのモデルによっては、本機と接続して使用できないものもあります。
- 各機器と本機を、長いケーブルを使用して接続する場合は、ケーブル補償器などを使用してください。本機が正常に映像を表示できないことがあります。
- 全ての組み立て・取り付け・接続を終えた後に電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。

### 本体前面



## 1 クローズドキャップ（以後不使用）をねじを回す要領で外す



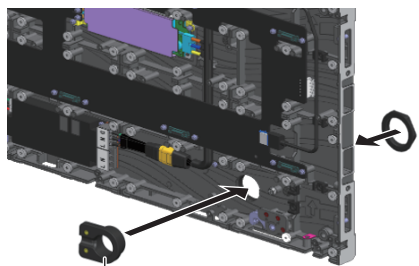
クローズドキャップ

## 2 ケーブルホルダーを取り付ける

① 取り付ける前に、ケーブル押さえを外しておく。

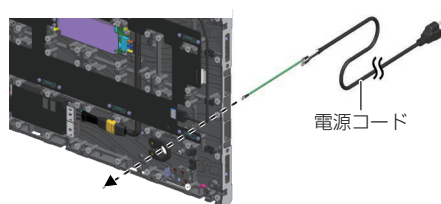


② ケーブルホルダーをねじを締める要領で取り付ける。

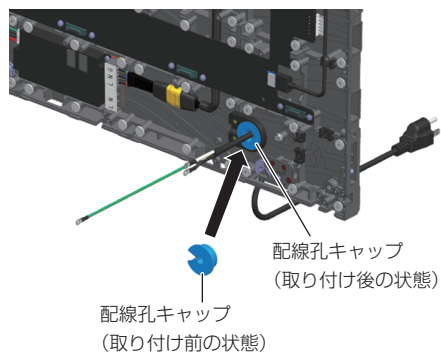


ケーブルホルダー

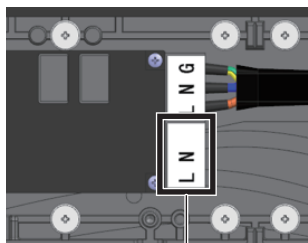
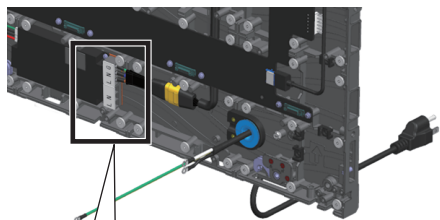
## 3 付属の電源コードの丸型端子を全て通線孔に通す



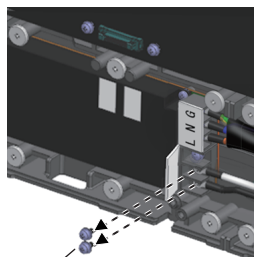
## 4 配線孔キャップ（Φ 8 mm）のスリットを拡げて電源コードをキャップの孔に通し、配線孔キャップをケーブルホルダーに取り付ける



5 基板上の AC IN（下側）の端子カバーを開け、NとL端子のねじを外す



AC IN（下側）の端子カバー

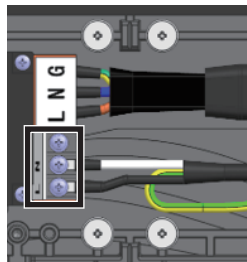


NとL端子のねじ

6 手順5で取り外した端子ねじでNとL端子に電源コードを結線し、端子カバーを閉める

- G 端子：不使用
- N 端子：白ケーブル
- L 端子：黒ケーブル

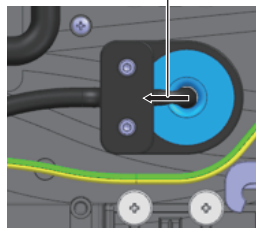
ねじ締めトルク値：  
 $0.3 \pm 0.05 \text{ N} \cdot \text{m}$



端子カバーを閉める

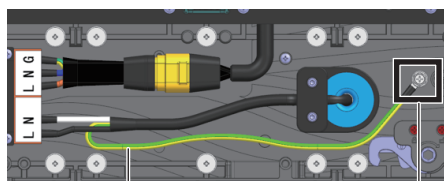
## 7 配線孔キャップのスリットに電源コードを添わず

配線孔キャップのスリットの方



## 8 キャビネットに取り付けられている接地用ねじを取り外し、電源コードの接地線を接地用ねじで取り付ける

● 電源コードを張らないでください。



電源コード接地線

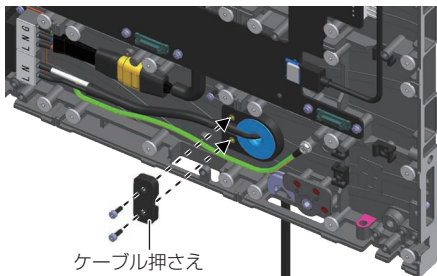
接地箇所

ねじ締めトルク値：  
 $0.6 \pm 0.1 \text{ N} \cdot \text{m}$

接地用ねじ



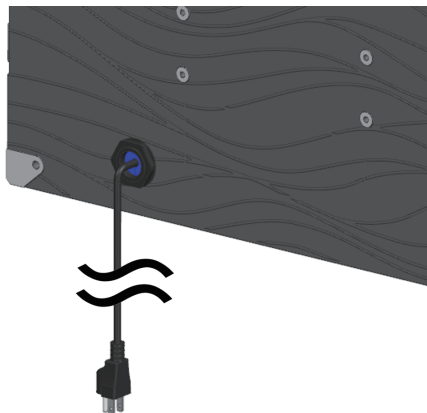
## 9 ケーブル押さえで電源コードを固定する



ケーブル押さえ

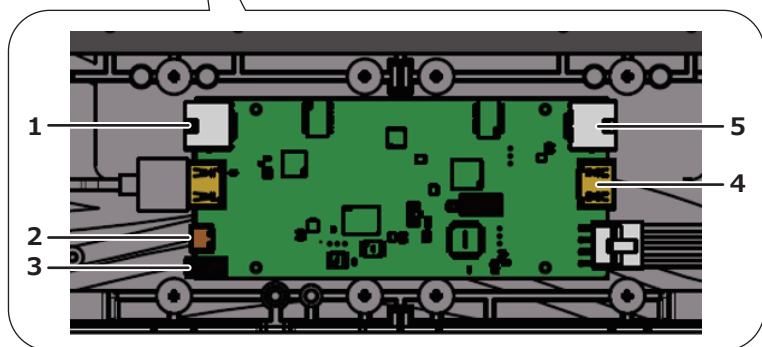
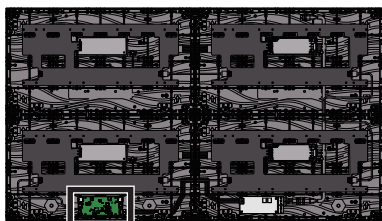
ねじ締めトルク値：  
 $0.3 \pm 0.05 \text{ N} \cdot \text{m}$

## 背面イメージ



## お願い

- 破損した電源コードは使用しないでください。電源コードの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 電源コードを外す場合は、必ず電源コンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
- 付属の電源コードは、本機専用です。他の用途に使用しないでください。
- 全ての組み立て・取り付け・接続を終えた後に通電してください。
- 変換プラグを使用せず、電源プラグを直接コンセントに接続してください。変換プラグを使用すると、電源プラグの差し込みが不完全になり、発熱による火災の原因になることがあります。

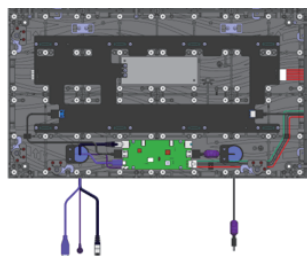


- 1 LAN 入力端子 (PC 制御用)  
機能拡張時に使用します。
- 2 USB-C 端子 (PC 制御用)  
付属の USB A-C ケーブルを使用し、  
USB-A 端子があるパソコンを接続します。
- 3 赤外線信号入力端子  
リモコンで本機を操作するとき外部 IR  
受信ケーブル (付属品) を接続します。
- 4 HDMI 入力端子  
HDMI 出力がある映像機器を接続します。
- 5 LAN 出力端子 (機能拡張用)  
機能拡張の際に使用します。

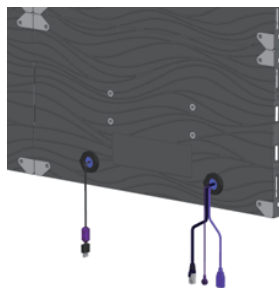
### お願い

- 以下の部品をご用意ください。(市販品)  
□ HDMI 入力用ケーブル  
□ PC 制御用 LAN ケーブル
- ケーブル固定後に、各入力ケーブルが確実に接続されていることを確認して下さい。

### ■ ケーブル接続後のイメージ図 前面イメージ



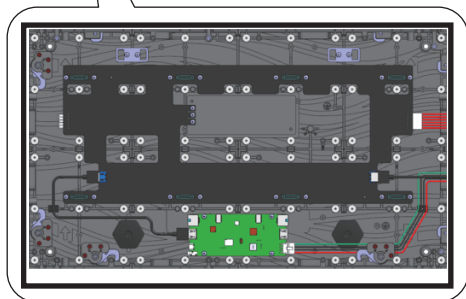
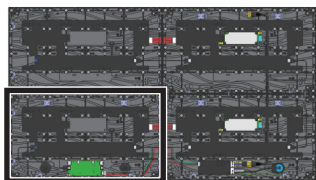
### 背面イメージ



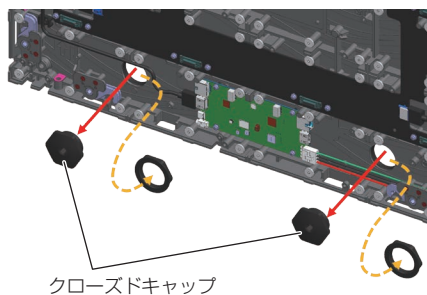
### お知らせ

- 各信号ケーブルの接続と固定方法は、「各信号ケーブルの接続と固定」の手順を参照してください。  
([P.23](#) ~ [P.25](#) ページ)

## 各信号ケーブルの接続と固定



### 1 クローズドキャップ（以後不使用）をねじを回す要領で外す

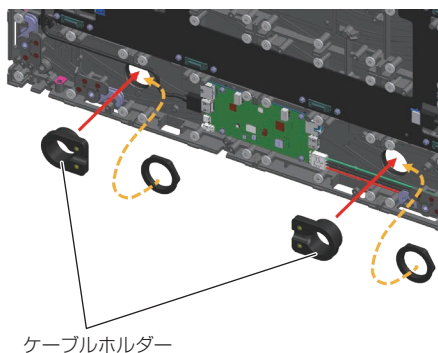


## 2 ケーブルホルダーを取り付ける

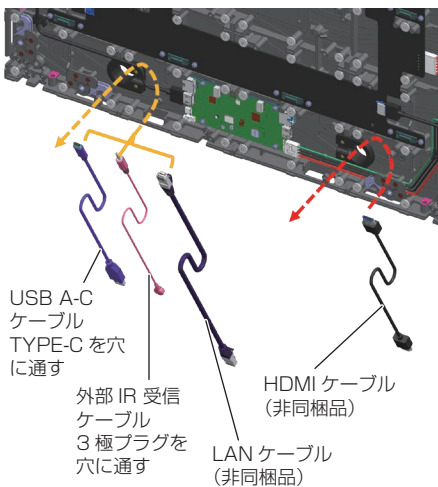
① 取り付ける前に、ケーブル押さえを外しておく。



② ケーブルホルダーをねじを締める要領で取り付ける。

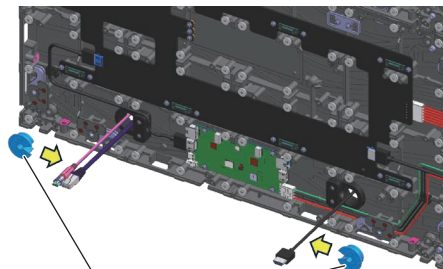


## 3 下図のように各ケーブルを通線孔に通す



#### 4 配線孔キャップ (Φ 8 mm) のスリットを上げて各ケーブルをキャップの孔に通し、配線孔キャップをケーブルホルダーに取り付ける

- 配線孔キャップのスリットの向き (下図黄色矢印) に注意してください。



配線孔キャップ

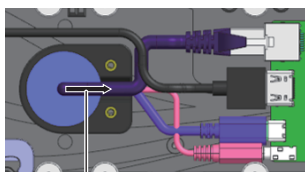
#### 5 各ケーブルを信号基板のそれぞれの端子に接続する

LAN 入力端子      信号基板

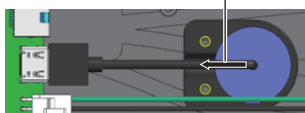


赤外線信号入力端子      USB-C 端子      HDMI 入力端子

#### 6 配線孔キャップのスリットに各ケーブルを添わず

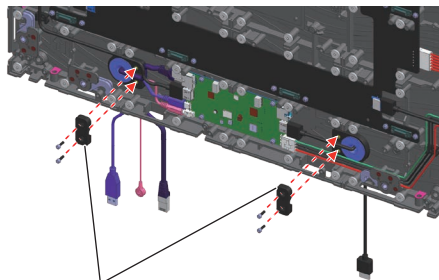


配線孔キャップのスリットの方向



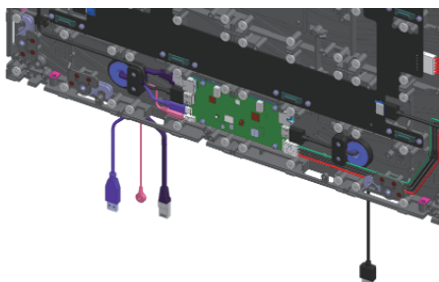
#### 7 ケーブル押さえで各ケーブルを固定する

- ケーブルをねじ部に挟み込まないように注意してください。

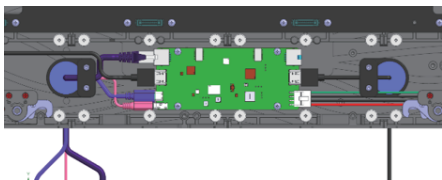


ケーブル押さえ

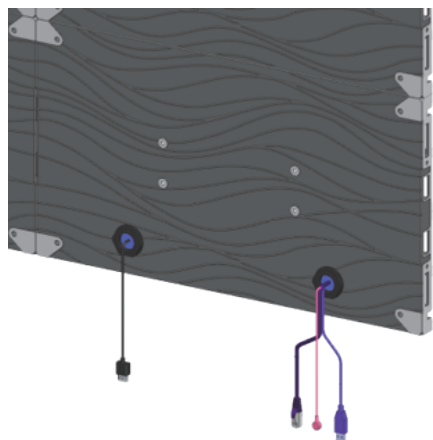
ねじ締めトルク値：  
 $0.3 \pm 0.05 \text{ N} \cdot \text{m}$



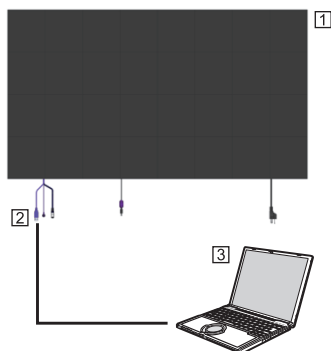
- ケーブル固定後に、各入力ケーブルが確実に接続されていることを確認してください。



## 背面イメージ

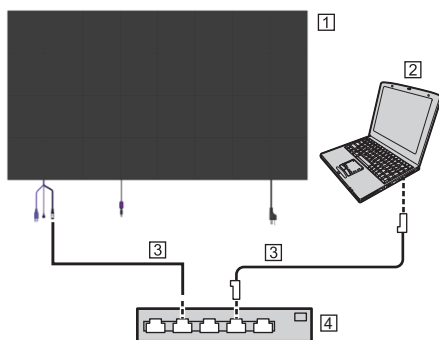


## ■ USB 端子接続例



- ① ディスプレイ（本機）
- ② USB A-C ケーブル（付属品）
- ③ パソコン

## ■ LAN 端子接続例



- ① ディスプレイ（本機）
- ② パソコン
- ③ LAN ケーブル（市販品）
- ④ ハブまたはブロードバンドルーター

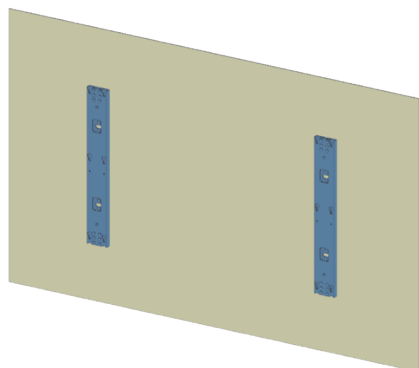
### お知らせ

- ブロードバンドルーターやハブは、10BASE-T に対応していることをご確認ください。
- 静電気を帯びた手（体）で LAN 端子に触れると静電気の放電により故障の原因になります。LAN 端子および LAN ケーブルの金属部に触れないようにしてください。
- 接続方法についてはネットワーク管理者にご相談ください。

## 壁掛け設置の方法

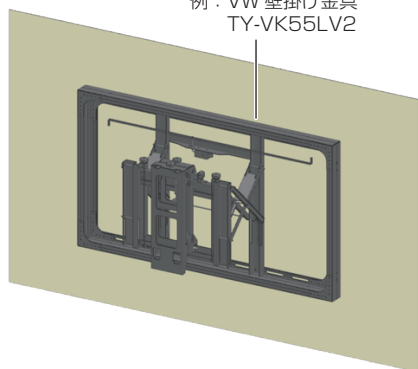
本機にはオプション品の壁掛け金具（TY-WMT1）を使用した設置と、市販の VESA 対応壁掛け金具を使用した設置方法があります。新規で設置される場合はオプション品の壁掛け金具のご使用を推奨します。

オプション品の壁掛け金具（TY-WMT1、2 セット）を使用した壁掛け設置



VESA 穴（M6 ねじ深さ 10 mm、ピッチ 400 mm × 400 mm）を利用した壁掛け設置

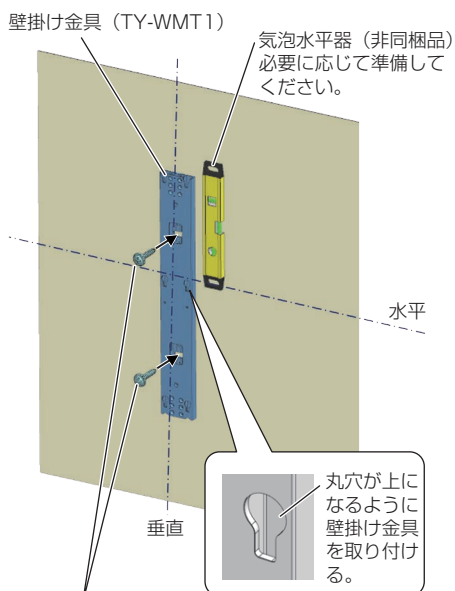
例：VW 壁掛け金具  
TY-VK55LV2



## ■ オプション品の壁掛け金具を使用する場合

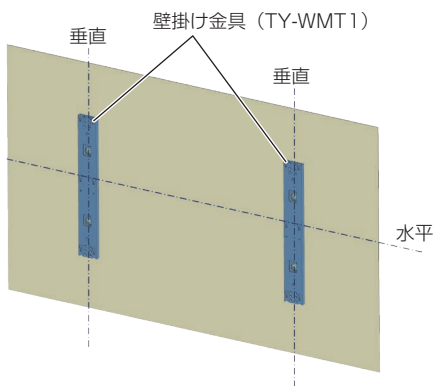
### 1 壁掛け金具を壁へ取り付ける

- ① 水平、垂直をレーザー等で墨だして、1 本目の壁掛け金具を規定の位置に設置する。
- ② M10 のねじ 2 本（非同梱品）で壁等の設置場所に壁掛け金具を固定する。



M10 × 2 本（非同梱品）  
設置壁の種類に応じて準備  
してください。

- ③同様の手順で2本目の壁掛け金具を規定の位置に設置して、壁掛け金具設置治具 (TY-WMT1J) を使って水平距離を確保し、M10のねじ2本 (非同梱品) で固定する。

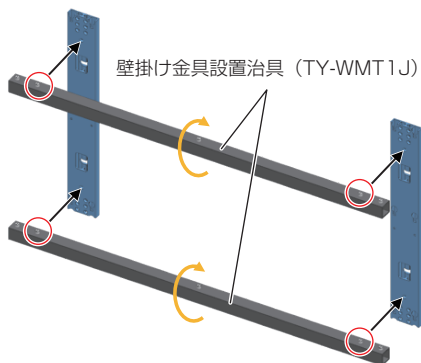


**お願い**

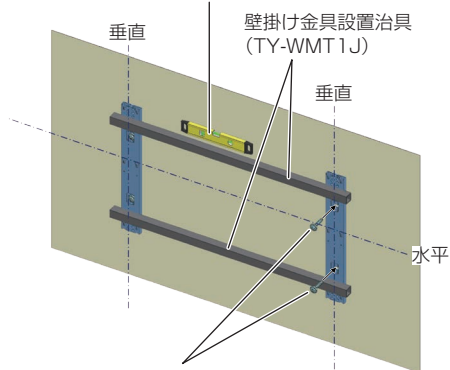
- 製品重量に十分耐えうる壁に設置してください。  
目安：55インチディスプレイ総重量 約21kg  
壁掛け金具 約3.5kg/2本
- 設置する壁面は十分な平面度を確保してください。目安は3mm以内です。
- 壁の平面度が不足して、壁掛け金具との間に隙間が生じる場合は適切な方法で隙間を埋め、ねじ締結時に壁掛け金具が変形しないように考慮してください。

- ④壁掛け金具設置治具 (TY-WMT1J) の位置決めピン2か所を左右2本の壁掛け金具 (TY-WMT1) の位置決め穴に差し込み、壁掛け金具間の距離を確保した状態で水平、垂直を確認して最終的に固定する。

- 55インチを設置する場合は治具の端から2個目の位置決めピン (下図赤丸参照) を使用しません。



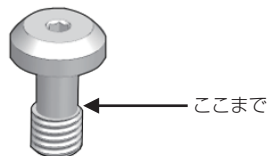
気泡水平器 (非同梱品)  
必要に応じて準備してください。



M10×2本 (非同梱品)  
設置壁の種類に応じて準備してください。

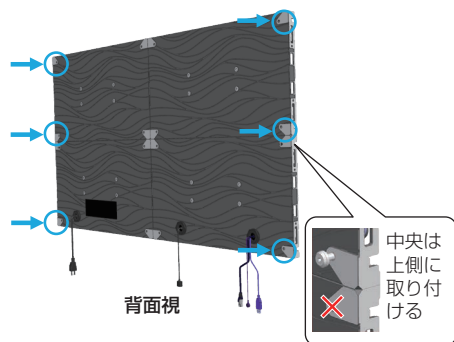
## 2 本体の背面側から壁掛け金具（TY-WMT1）に、付属のハンガーピン（DPVF5295ZA/X1）を6か所取り付けける

- ねじ山がキャビネットに埋まるまで取り付けます。

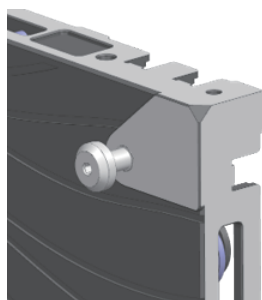


ハンガーピン：M8  
(DPVF5295ZA/X1)

- 付属のハンガーピンを背面側から下図の青矢印で示した6か所に取り付けます。

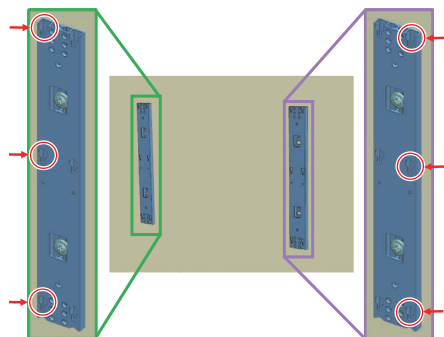


背面視

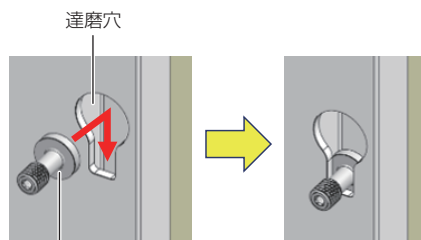


取り付けた状態

## 3 本体に取り付けたハンガーピンを、壁掛け金具側の達磨穴（下図の赤矢印で示した6か所の穴）に挿入し、取り付ける



- 丸穴側に挿入して下にスライドしてください。

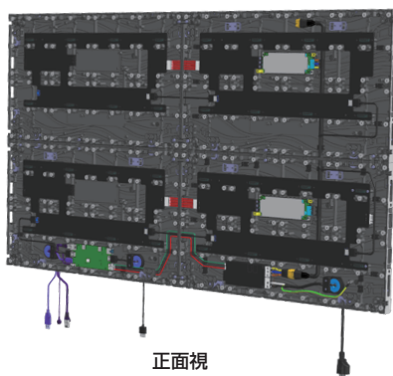


挿入後  
下にスライド

## 4 本体正面側からハンガーピンを締め付ける

- 正面から締め付ける場合は反時計回りとなるので注意してください。

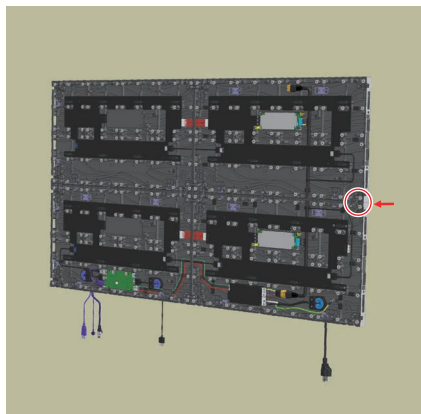
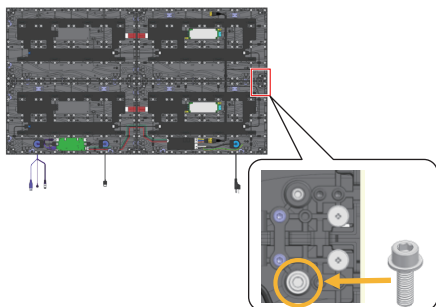
ねじ締めトルク値：6.2 N・m ± 0.1 N・m



正面視

5 下図の黄色矢印で示した1か所に、外れ防止ねじ (M6 × 25、TY-WMT1 に同梱) を締め付ける

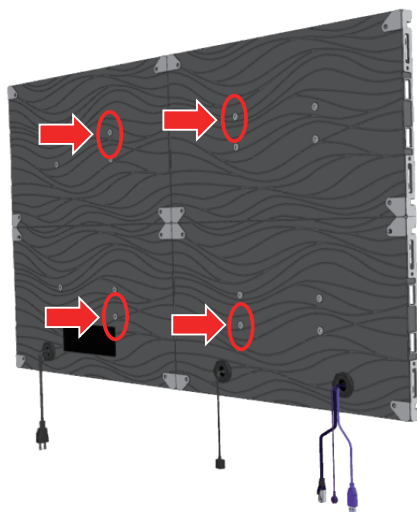
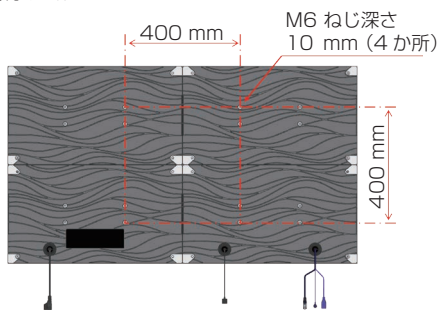
ねじ締めトルク値 : 2.6 N · m ± 0.1 N · m



■ VESA 穴 (M6 ねじ深さ 10 mm、ピッチ 400 mm × 400 mm) を利用して壁掛け設置する場合

本体背面に設けられた M6 ねじ深さ 10 mm、ピッチ 400 mm × 400 mm の VESA 規格準拠のねじ穴を利用して、VESA 規格準拠の壁掛け金具を取り付けることができます。

壁掛け金具の取り付け方法の詳細については、ご購入された各壁掛け金具の取扱説明書をお読みください。



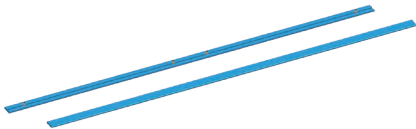
お願い

- 製品重量に十分耐えうる壁に設置してください。  
目安 : 55 インチディスプレイ総重量 約 21 kg

## カバーフレームの取り付け

本体側面にカバーフレームを取り付けます。  
カバーフレームはカバーフレーム横 (TY-CF55LVH1)、カバーフレーム縦 (TY-CF55LVV1)、カバーフレーム縦 (TY-CF55LVV1)、カバーフレームコーナー (TY-CF55LVC1) の3種類あり、55インチで各1セットが必要です。

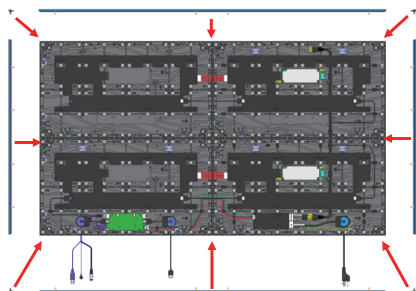
カバーフレーム横 (TY-CF55LVH1):  
2本 / セット



カバーフレーム縦 (TY-CF55LVV1):  
2本 / セット



カバーフレームコーナー (TY-CF55LVC1):  
4個 / セット



取り付けイメージ

- 1 カバーフレーム横 (TY-CF55LVH1) / カバーフレーム縦 (TY-CF55LVV1) にベースピン (各カバーフレームに付属) を取り付けて組み立てる

ベースピン



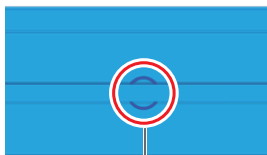
カバーフレーム縦 (TY-CF55LVV1)



カバーフレーム横 (TY-CF55LVH1)

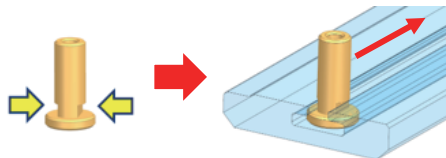


カバーフレームの上記の赤矢印の各4か所に下図の刻印が記されています。



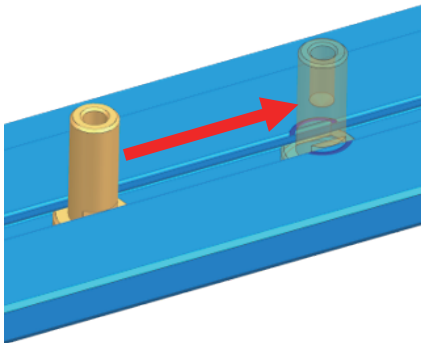
ベースピン取り付け位置の刻印

- ①ベースピンは方向があり、下図のようにベースピンの溝に注意しながらカバーフレームへ挿入してスライドさせる。

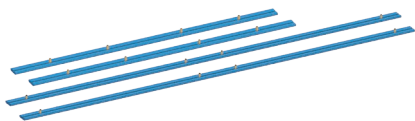


②ベースピンを取り付け位置の刻印までスライドさせてベースピンと刻印の位置を一致させる。

- ベースピンはバネナットになっているためバネ力によりその位置で仮保持されます。



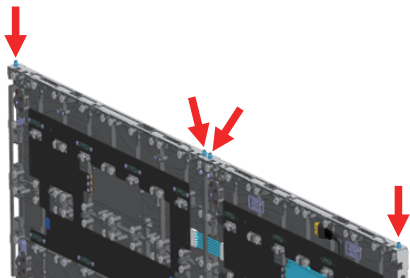
③同様の手順でカバーフレームに各4本ずつ挿入する。



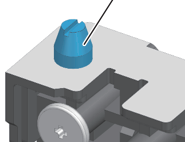
## 2 カバーフレーム横 (TY-CF55LVH1) を本体に取り付ける

①本体上側4か所の位置決めピンを、マイナーストドライバーで取り外す。

位置決めピン (下図赤矢印4か所)

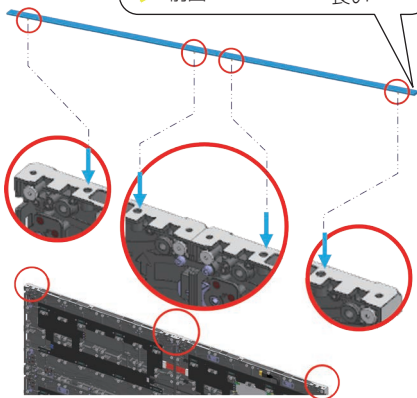
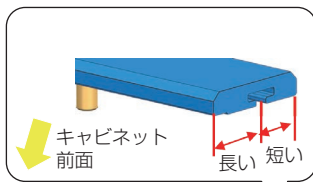


位置決めピン

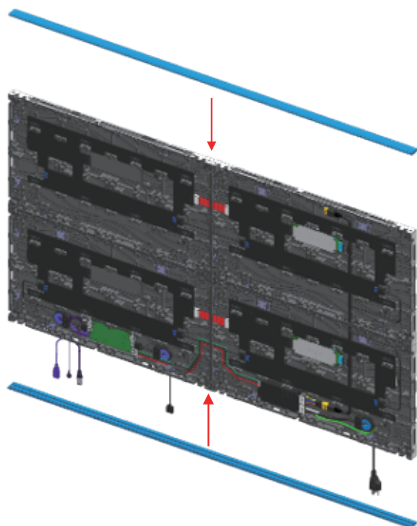


②カバーフレームの断面を確認し、溝から端面までが長い方が正面 (LED モジュール側) に来るようにカバーフレームに取り付けたベースピン4か所を、本体の取り付け穴 (下図青矢印参照) に挿入する。

- カバーフレームのベースピンをキャビネット側に向けて、フレームの溝から端面が長い方がキャビネット前面になるようにしてください。



- このとき、本体に対してカバーフレームが左右にズレていないか確認し、正しく位置を合わせてください。



### 3 カバーフレームに付属の六角レンチ (HEX2) を使用して、付属のM3×10のねじで上下それぞれ4か所ずつ締め付ける

ねじ締めトルク値：0.3 N・m ± 0.01 N・m

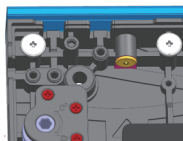
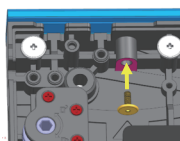
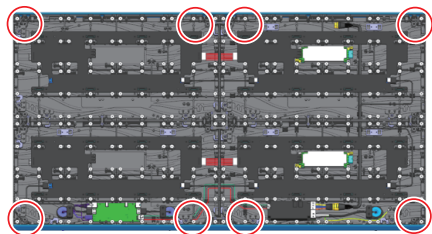


六角レンチ

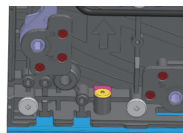
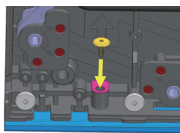


付属ねじ M3x10

ねじ締め付け箇所(赤丸8か所)



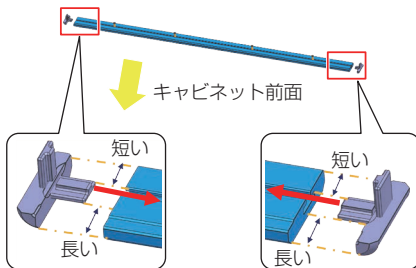
上側



下側

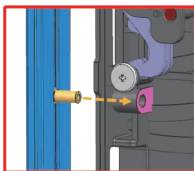
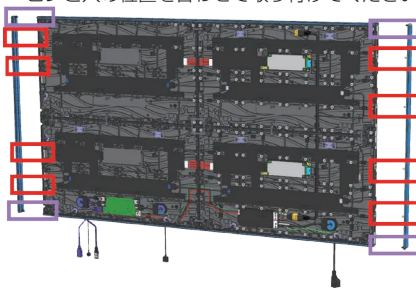
### 4 カバーフレーム縦 (TY-CF55LVV1) にカバーフレームコーナー (TY-CF55LVC1) を各2個挿入する

- 向きに注意し、下図のようにカバーフレームの断面に合うように挿入してください。

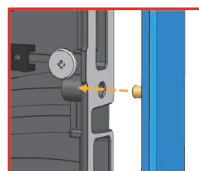


### 5 カバーフレーム縦 (TY-CF55LVV1) を本体に取り付ける

- 左右それぞれ4か所(下図赤枠内参照)のベースピンと穴の位置を合わせて取り付けてください。

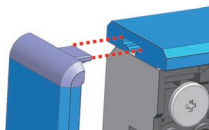


左側



右側

- 上図紫枠内4か所のカバーフレームコーナー (TY-CF55LVC1) の突起とカバーフレーム横 (TY-CF55LVH1) の溝も注意して合わせてください。



6 カバーフレームに付属の六角レンチ (HEX2) を使用して、付属のM3×10のねじで左右それぞれ4か所ずつ締め付ける

ねじ締めトルク値：0.3 N・m ± 0.01 N・m

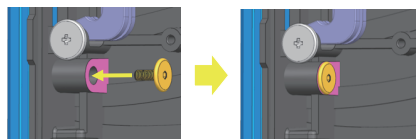
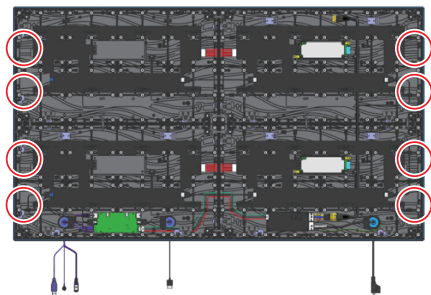


六角レンチ

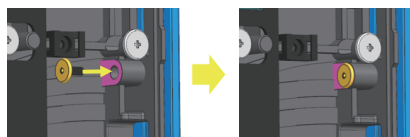


付属ねじ M3x10

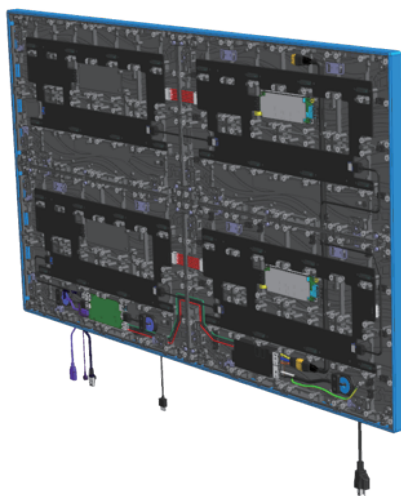
ねじ締め付け箇所(赤丸8か所)



左側



右側



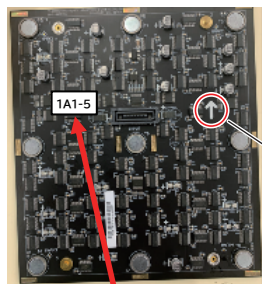
完成図

## LED モジュールの取り付け

- 必ず電源を切った状態で作業を行ってください。
- 作業時、静電気による故障や皮脂汚れを防止するため、素手で LED モジュールを触らないでください。
- 電源を切った直後に作業を行うと、LED モジュールが互いに干渉し、取り外しにくくなる場合があります。その場合は、電源を切ってしばらくしてから作業を行ってください。

### 1 LED モジュール背面のラベル（例：1A1-5）と、キャビネットの HUB 基板上に貼られたラベル（例：1A1、1A2、1B1、1B2）を確認する

- ・ LED モジュール背面ラベル



上下方向を示す  
矢印

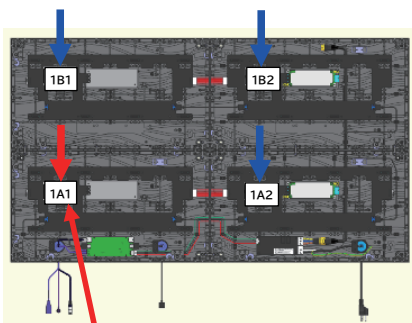
**1A1-5**

LED モジュール  
位置番号

キャビネット番号

ディスプレイ番号  
(生産品毎に変わります  
最大 3 桁)

- ・ HUB 基板ラベル

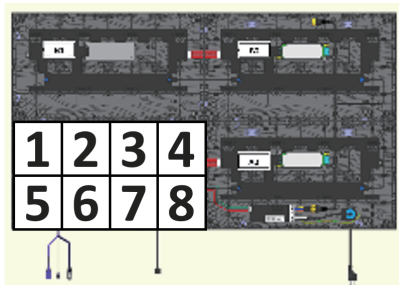


**1A1**

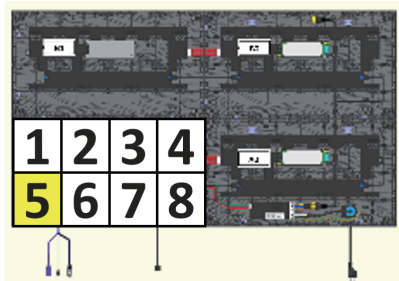
キャビネット番号

ディスプレイ番号  
(生産品毎に変わります  
最大 3 桁)

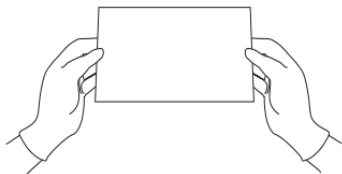
- LED モジュール背面に貼られたラベルのキャビネット番号は、55 インチ内のどのキャビネット (27.5 インチ) であるかを示し、LED モジュール位置番号は、そのキャビネット内のどの位置であるかを示しています。各キャビネット内の番号付与ルールは下図の通りです。



- この例の場合、この LED モジュールはキャビネット A1 の左下であることを示しています。(下図の黄色で示した場所)



## 2 取り付けたいLED モジュールの両側面を持つ

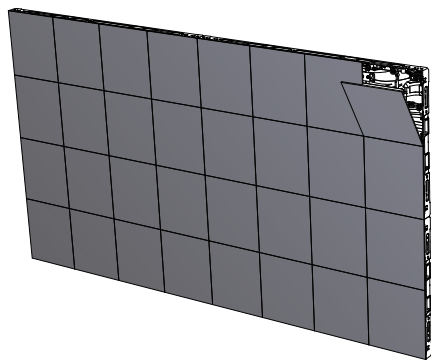


## 3 取り付けたい位置の下辺とLED モジュールの下辺を合わせる

- LED モジュールは上下の向きが決まっています。LED モジュール背面に記載している矢印の向きが上方向です。

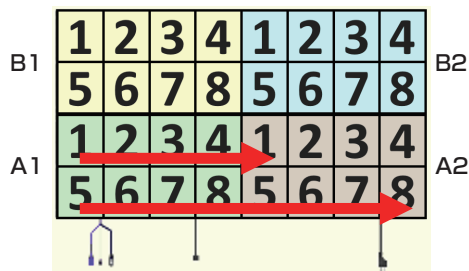
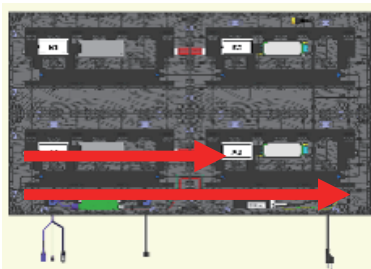
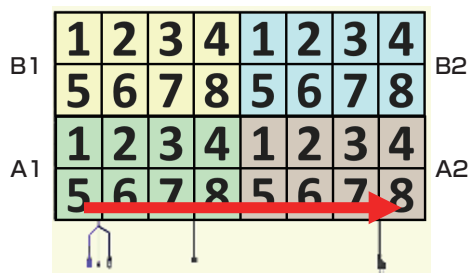
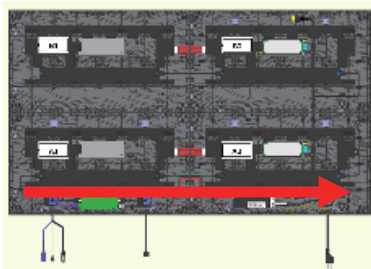
## 4 下辺を合わせた状態で、LED モジュールをキャビネットに取り付ける

- 取り付けの際、強い力を加えないでください。LED モジュールの故障の原因になる場合があります。
- 取り付けたあと、コネクタの接触不良により表示不良が発生する場合があります。その際は、LED モジュールの取り外しを行い、再度取り付けを行ってください。



## 5 LED モジュールを取り付ける順番は、最下段左端 (A1-5) から右に向かって取り付け、最下段が終われば次の段と言う順番で取り付ける

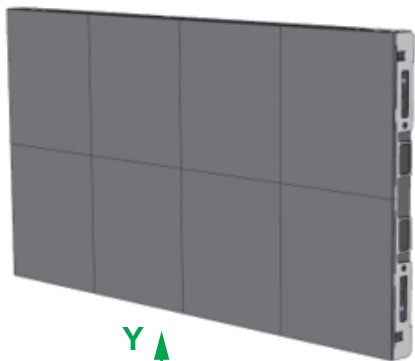
- ディスプレイ番号は省略しています。
- A1-5 → A1-6 → A1-7 → A1-8 → A2-5 → A2-6 → A2-7 → A2-8 → A1-1 → A1-2 → A1-3 → A1-4 → A2-1 → A2-2 → A2-3 → A2-4 → B1-5 → B1-6 → B1-7 → B1-8 → B2-5 → B2-6 → B2-7 → B2-8 → B1-1 → B1-2 → B1-3 → B1-4 → B2-1 → B2-2 → B2-3 → B2-4



## LED モジュールの段差調整 (Z方向)

段差が気になる場合は必要に応じて、LED モジュールの段差調整 (Z方向) を行ってください。キャビネットの高さ調整ねじを利用して、LED モジュールの段差調整を行うことができます。

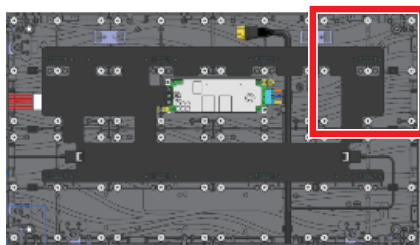
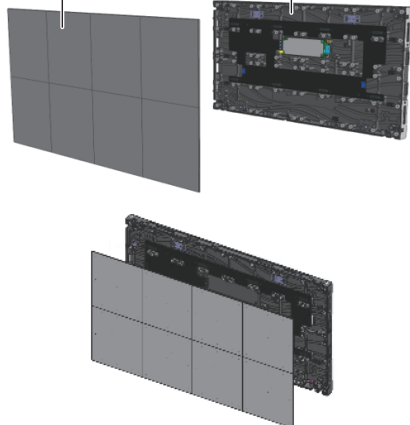
### キャビネットの XYZ 方向について



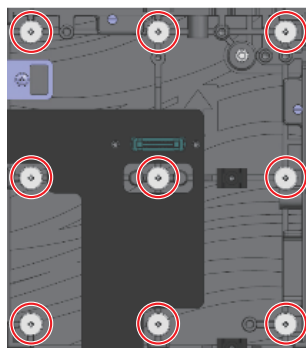
1 つのキャビネットには 8 枚の LED モジュールがマグネットによって Z 方向に取り付けられています。

LED モジュール

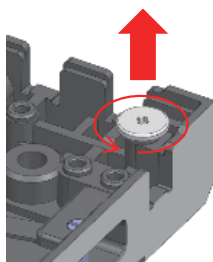
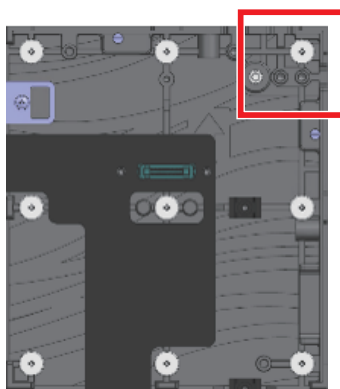
キャビネット



1 枚の LED モジュールは 9 か所のマグネットにより、キャビネット側の金属ねじと、磁力で貼り付くことにより固定されています。



キャビネット側の金属ねじを回すことで LED モジュールの高さを調整することができます。



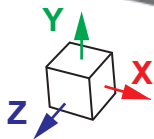
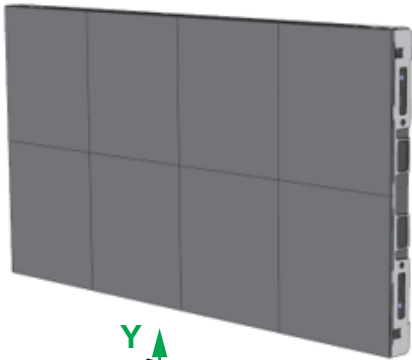
反時計回りにねじを回して、ねじの位置を高くすることで LED モジュールの面合わせを行うことができます。

## LED モジュールの隙間調整 (XY 方向)

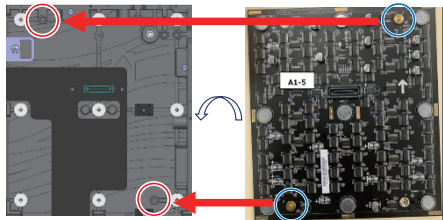
各 LED モジュールの XY 位置は、キャビネットと LED モジュールの位置決めピンによって規制されているため、調整することは出来ません。

どうしても隙間が気になる場合は、LED モジュールの位置決めガタ分で微調整 (XY 方向) を行ってください。

### キャビネットの XYZ 方向について

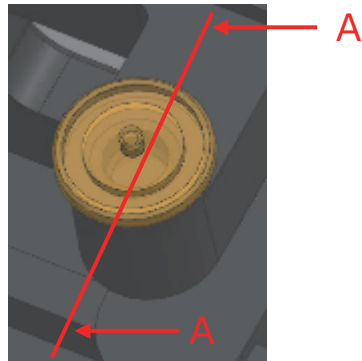


キャビネットの下図2か所の赤丸で示したボス穴に、下図2か所の青丸で示した LED モジュールの位置決めピンがはまることで、XY 方向の位置規制をしています。

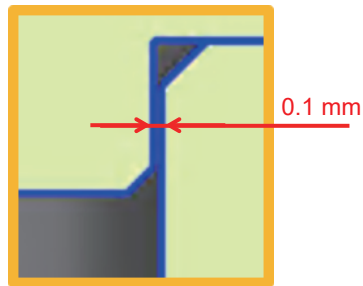
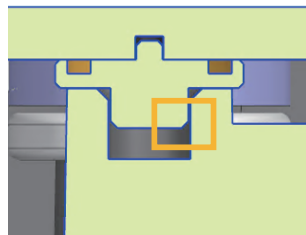


下図は位置決めピンの断面を示しています。

LED モジュールはキャビネットに対し、設計上 XY 方向に 0.1 mm のガタが設けられています。実際は各部品の寸法バラつきにより、そのガタは増減し、若干程度動かすことができる程度です。

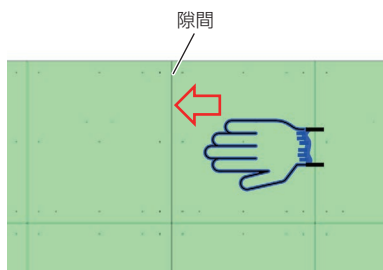
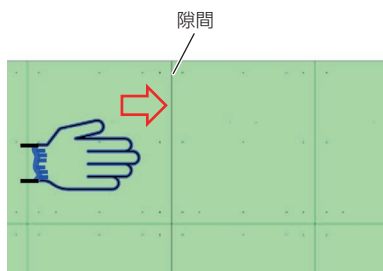


A-A 断面



隙間が気になる箇所の LED モジュールに対し、手のひら全体を押し当て、矢印の方向に力を加えて若干程度スライドさせる

- 必ず制電手袋をした状態で作業を実施して下さい。
- 目安は、手のひら全体を接触させた状態で約 2 kgf です。



#### お願い

- 指先等、局所的に力を加えないで下さい。
- 制電手袋は手のひら全面がポリウレタン樹脂等でコーティングされた、滑り止め効果のあるものをご使用下さい。
- 制電手袋の表面抵抗値は  $10^6$ - $10^{11}$   $\Omega$  のものが推奨となります。

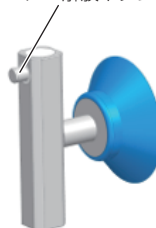
## LED モジュールの取り外し

- 必ず電源を切った状態で作業を行ってください。
- LED モジュールを取り外す際は、LED モジュール用のメンテナンスツールを使用して取り外してください。

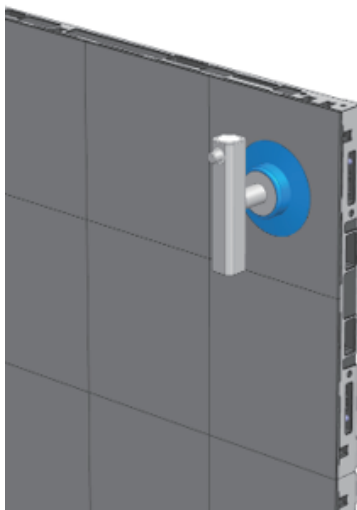
### 1 取り外したい LED モジュールの中央に LED モジュール取り外しツールの吸盤を押し付けて吸着させる

- ツールのエア解放ボタンを押すと吸着が解除されます。LED モジュール保持時は押さないで下さい。

エア解放ボタン



LED モジュール取り外しツール



## 2 キャビネットに対して垂直に LED モジュールを持ち上げ、LED モジュールを取り外す

- 取り外す際、隣り合った LED モジュールと接触しないよう、キャビネットに対して垂直に取り外してください。LED モジュール表面のフィルムが剥がれるなどの破壊や故障の原因となります。

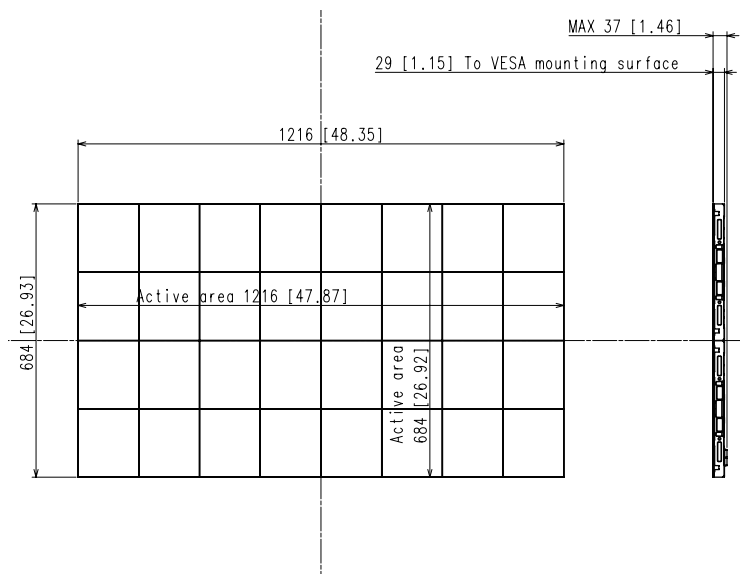


## 3 ツールのエア解放ボタンを押し、LED モジュールをツールから外す

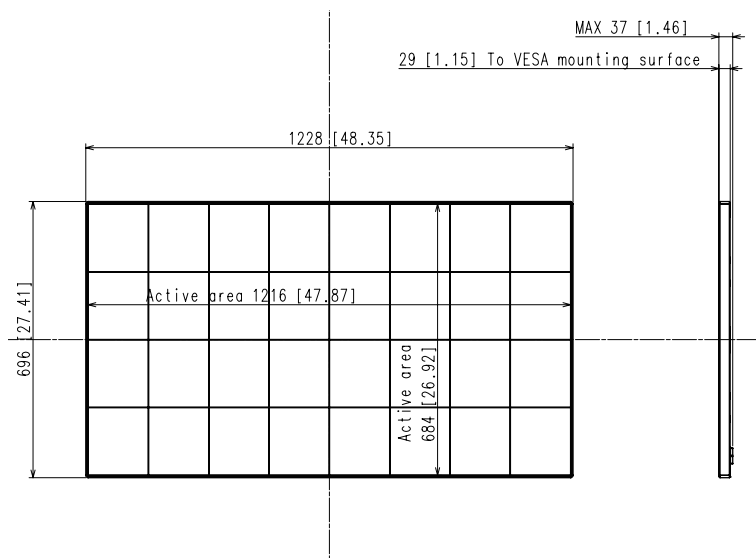
- LED モジュールが落下しないように、LED モジュールを手で支えながらツールのエア解除ボタンを押ししてください。

# 寸法図

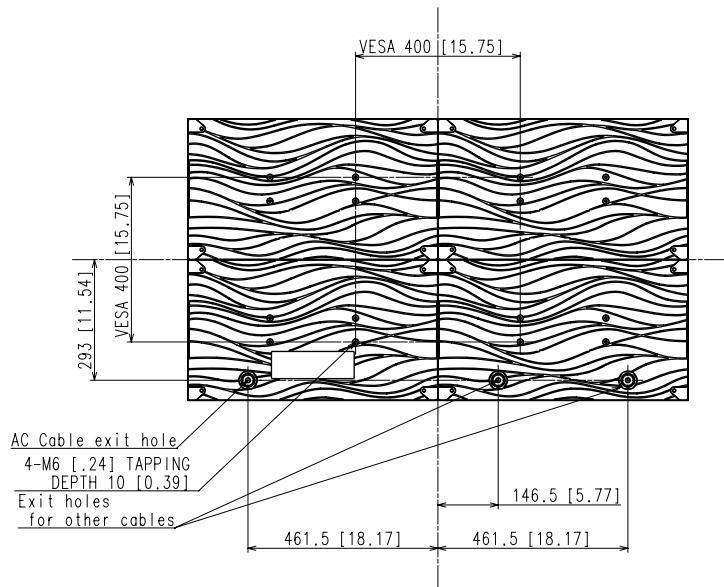
正面図・側面図（カバーフレームなし）



正面図・側面図（カバーフレームあり）



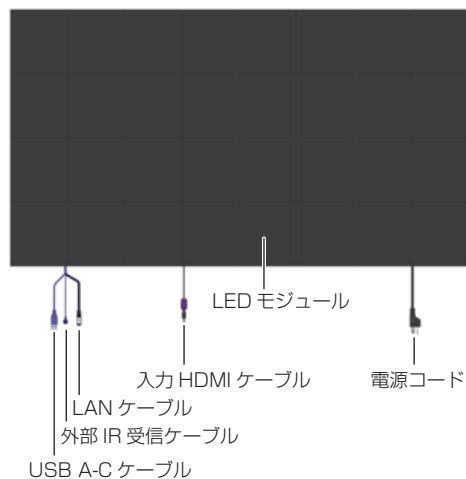
背面图



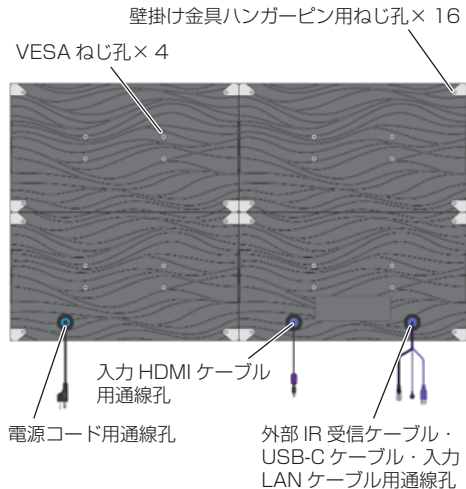
# 各部の基本説明

## ディスプレイ

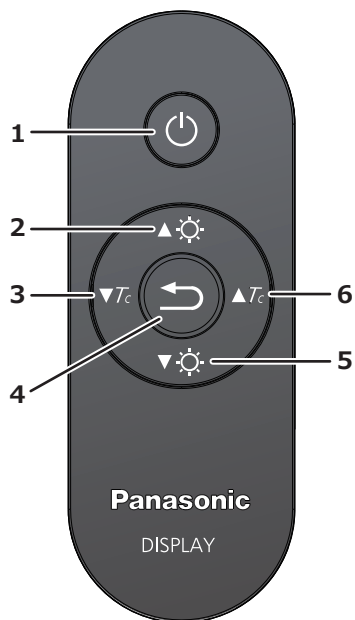
### 前面



### 背面



## リモコン



### 1 電源ボタン

- 本体の電源が「入」状態で電源を入/切します。

### 2 輝度 UP ボタン

- ディスプレイ画面の輝度を上げます。

### 3 色温度 DOWN ボタン

- ディスプレイ画面の色温度を下げます。

### 4 戻るボタン

- 約 5 秒間の長押しで出荷時の輝度 / 色温度に戻ります。

### 5 輝度 DOWN ボタン

- ディスプレイ画面の輝度を下げます。

### 6 色温度 UP ボタン

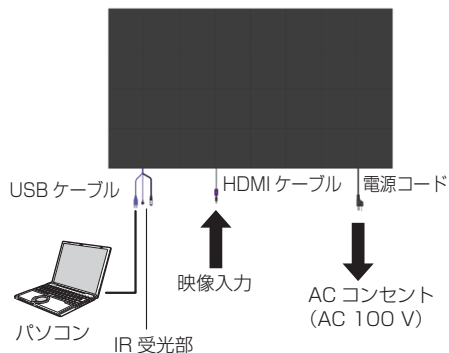
- ディスプレイ画面の色温度を上げます。

### お知らせ

- 輝度は、10～100（暗い～明るい）まで10ステップ毎の10段階で明るさを調整します。
- 色温度は、4000K/6500K/9300K/10700Kの4段階で色調を調整します。（数値が小さいと赤色が強調され、大きいと青色が強調されます）
- 出荷時の輝度 / 色温度は、100/6500K に設定されています。

# 基本の操作

## 55 インチモデルの例



リモコンは IR 受信ケーブルの受光部へ向けて操作してください



1 電源プラグをコンセントへ接続する  
(AC 100 V 50 Hz/60 Hz)

2 自動で本体の電源が「入」になる

### ■ リモコンで「切」「入」する

#### 電源を切る

- 本体の電源が「入」の状態ではリモコンの電源ボタンを押すと電源「切」になります。

#### 電源を入れる

- 本体の電源が「切」の状態ではリモコンの電源ボタンを押すと電源「入」になります。

### お知らせ

- 本機は、パソコンから LED ディスプレイ (LV シリーズ) に対して調整や制御を行うソフトウェア「LED Manager LV」に対応しています。
- 本機のパソコンでの操作は LED Manager LV 取扱説明書をお読みください。
- 詳細は下記の WEB サイトを参照してください。  
(<https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/prodisplays>)

# プリセット信号

本機が表示できる映像信号は下表のとおりです。

対応信号	解像度 (Dot)	走査周波数		ドットクロック 周波数 (MHz)	出力設定
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)		
960 x 540 60p	960 x 540	37.50	60.00	54.000	960 x 540
960 x 540 50p	960 x 540	31.25	50.00	54.000	960 x 540
1920 x 1080 60p	1920 x 1080	67.50	60.00	148.500	960 x 540
1920 x 1080 50p	1920 x 1080	56.25	50.00	148.500	960 x 540
1920 x 1080 60p	1920 x 1080	67.50	60.00	148.500	1920 x 1080
1920 x 1080 50p	1920 x 1080	56.25	50.00	148.500	1920 x 1080
3840 x 2160 60p	3840 x 2160	135.00	60.00	594.000	1920 x 1080
3840 x 2160 50p	3840 x 2160	112.50	50.00	594.000	1920 x 1080
2880 x 1620 60p	2880 x 1620	101.28	60.00	334.224	2880 x 1620
2880 x 1620 50p	2880 x 1620	84.40	50.00	278.520	2880 x 1620
1920 x 1080 60p	1920 x 1080	67.50	60.00	148.500	2880 x 1620
1920 x 1080 50p	1920 x 1080	56.25	50.00	148.500	2880 x 1620
3840 x 2160 60p	3840 x 2160	135.00	60.00	594.000	2880 x 1620
3840 x 2160 50p	3840 x 2160	112.50	50.00	594.000	2880 x 1620
3840 x 2160 60p	3840 x 2160	135.00	60.00	594.000	3840 x 2160
3840 x 2160 50p	3840 x 2160	112.50	50.00	594.000	3840 x 2160
1920 x 1080 60p	1920 x 1080	67.50	60.00	148.500	3840 x 2160
1920 x 1080 50p	1920 x 1080	56.25	50.00	148.500	3840 x 2160
1920 x 1620 60p	1920 x 1620	101.28	60.00	222.816	1920 x 1620
1920 x 1620 50p	1920 x 1620	84.40	50.00	185.680	1920 x 1620
2880 x 1080 60p	2880 x 1080	67.50	60.00	222.750	2880 x 1080
2880 x 1080 50p	2880 x 1080	56.25	50.00	185.625	2880 x 1080
1920 x 2160 60p	1920 x 2160	135.06	60.00	297.132	1920 x 2160
1920 x 2160 50p	1920 x 2160	112.55	50.00	247.610	1920 x 2160
3840 x 1080 60p	3840 x 1080	67.50	60.00	297.000	3840 x 1080
3840 x 1080 50p	3840 x 1080	56.25	50.00	247.500	3840 x 1080
2880 x 2160 60p	2880 x 2160	135.06	60.00	445.698	2880 x 2160
2880 x 2160 50p	2880 x 2160	112.55	50.00	371.415	2880 x 2160
3840 x 1620 60p	3840 x 1620	101.28	60.00	445.632	3840 x 1620
3840 x 1620 50p	3840 x 1620	84.40	50.00	371.360	3840 x 1620

## お知らせ

- 上記信号を表示させるためには、専用アプリ (LED Manager LV) で入力解像度および出力設定を変更する必要があります。
- 出荷設定時は入力解像度 1920 x 1080 60Hz、出力設定 1920 x 1080 が設定されています。出荷時設定のまま 1 台で使用した場合、2 x 2 構成の表示設定のため、画面の左上 1/4 のみが表示されます。
- 入力解像度および出力設定の内容により、本機が出力する EDID (拡張ディスプレイ識別データ) は変化します。PC を接続した場合、PC は EDID に基づいて自動的に最適な出力信号を選択しますが、PC の表示設定が「複製 (ミラー)」になっている場合、正しく表示されないことがあります。その場合は、PC の表示設定を「拡張」にすることを勧めます。

# 仕様

## 本体

品番	TL-55LV12AJ
種類	LED ディスプレイ
使用電源	AC 100 V 50 / 60 Hz 1.95 A (AC 電源出力なし)
定格入力電流	8 A
定格出力電流	6 A
LED タイプ	3-in-1 COB
ピクセルピッチ	1.26 mm
画面サイズ	55 型 (1,395.1 mm)
画面寸法	幅 1,216.0 mm 高さ 684.0 mm 対角 1,395.1 mm
画素数	518,400 画素 (水平 960 × 垂直 540)
動作使用条件	温度: 0 °C ~ 40 °C * <sup>1</sup> 湿度: 10 % ~ 80 %
HDMI 入力端子	TYPE A コネクター * <sup>2</sup> × 1 (4K 対応) HDCP2.2 対応
USB-C 端子* <sup>3</sup> (PC 制御用)	TYPE C
赤外線信号入力端子	ステレオミニジャック (Φ 3.5 mm)
LAN 入力端子 (PC 制御用)	RJ45 ネットワーク接続用 通信方式: RJ45 10BASE-T
LAN 出力端子 (機能拡張用)	RJ45 ネットワーク接続用 通信方式: RJ45 10BASE-T
外形寸法	幅 1,216 mm x 高さ 684 mm x 奥行 29 mm
質量	18.3 kg
キャビネット材質	アルミダイカスト

## リモコン

使用電源	DC 3.0 V (CR2025 1 個)
操作距離	約 7 m 以内 (受信部正面)
質量	約 30 g (電池含む)
外形寸法	幅 40.1 mm x 高さ 108.0 mm x 奥行 9.8 mm

\*<sup>1</sup> 高地 (海拔 1 400 m 以上 2 800 m 未満) で使用する場合は使用環境温度は 0 °C ~ 35 °C になります。

\*<sup>2</sup> VIERA LINK 非対応

\*<sup>3</sup> USB-C 端子はデータ通信用です。給電には使用できません。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

(This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

# ソフトウェアライセンス

---

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社（パナソニック プロジェクター&ディスプレイ）が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニック プロジェクター&ディスプレイにライセンスされたソフトウェア

本製品は、AVC Patent Portfolio License、VC-1 Patent Portfolio License 及び MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- (i) 画像情報を AVC 規格、VC-1 規格及び MPEG-4 Visual 規格に準拠して（以下、AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオ）記録すること。
- (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオを再生すること。

詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

# 商標について

---

- Microsoft、Windows、Internet Explorer、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、macOS、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- PJLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録又は出願商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- MEVIX は、パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社の、日本およびその他の国における商標または登録商標です。

その他、この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では® や™ マークは明記していません。

各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

■ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



これらのシンボルマークは、ヨーロッパ連合（EU）をはじめとするリサイクルシステムを備えた国にのみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。



警告

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高周波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

<b>便利メモ</b> おぼえのため記入 されると便利です。	<b>お買い上げ日</b>	年 月 日	<b>品番</b>	
	<b>販売店名</b>	☎ ( ) -	<b>お客様ご相談窓口</b> ☎ ( ) -	